

「我が国の教育経験の活用等に関するタスクフォース」 検討結果(要約)

文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室

2002年4月



「我が国の教育経験を活用」等に関するタスクフォース開催状況

平成13年12月の国際教育協力懇談会中間報告を受け、国際協力事業団（JICA）、国際協力銀行（JBIC）、教育協力NGOネットワーク、及び、省内関係局課と連携したタスクフォースを以下のとおり開催（外務省オブザーバー参加）。

ダカール行動枠組みの6つの目標と適合性が高いと判断された10の教育分野に関して、それぞれ我が国の教育経験について文部科学省関係局課から説明するとともに、援助機関及びNGOから途上国におけるニーズと協力実績について報告を受け、意見交換等を実施。

《準備会合》 平成14年1月 8日 タスクフォースの目的と進め方

《第1回会合》 平成14年1月25日 理数科教育、環境教育、教員研修制度

《第2回会合》 平成14年2月 8日 幼稚園教育、障害児教育

《第3回会合》 平成14年2月21日 健康教育、家庭科教育、女性教育

《第4回会合》 平成14年3月 7日 学校施設、職業教育

《第5回会合》 平成14年4月 2日 分野横断的な事項の取りまとめ

我が国の教育経験活用に関する基本的な取り組み方

協力経験の浅い分野

幼稚園教育、環境教育、家庭科教育、女性教育、
障害児教育、健康教育、学校施設

我が国の教育経験に関する情報提供と 対話プロセスの強化

途上国の関係者を我が国に招聘

ワークショップ等を通じ、途上国と対話・検討

インターネットを通じた情報提供による助言・交流

途上国と共同で問題分析・協力可能性の調査



途上国からの要請に基づく協力の検討

並行して、関連法規等の英語化、教育現場の映像化等、
情報提供に必要な資料やその作成、管理体制の強化を進める

協力経験の豊富な分野

理数科教育、教員研修制度、職業教育

協力経験の共有化と伝達

協力経験やノウハウを集積

成功事例や教訓の抽出

現地協力に共通して活用できる教材等の整備

現地協力に共通した活動内容の研究と整備



共有化された内容を派遣人員に伝達

当面は、理数科教育・教員研修制度(学校運営を含む)を
中心に経験の共有化と伝達を進める